

Fig.2. Seasonal prevalence of patients with infectious gastroenteritis, and weekly isolation of viruses from patients with the disease.

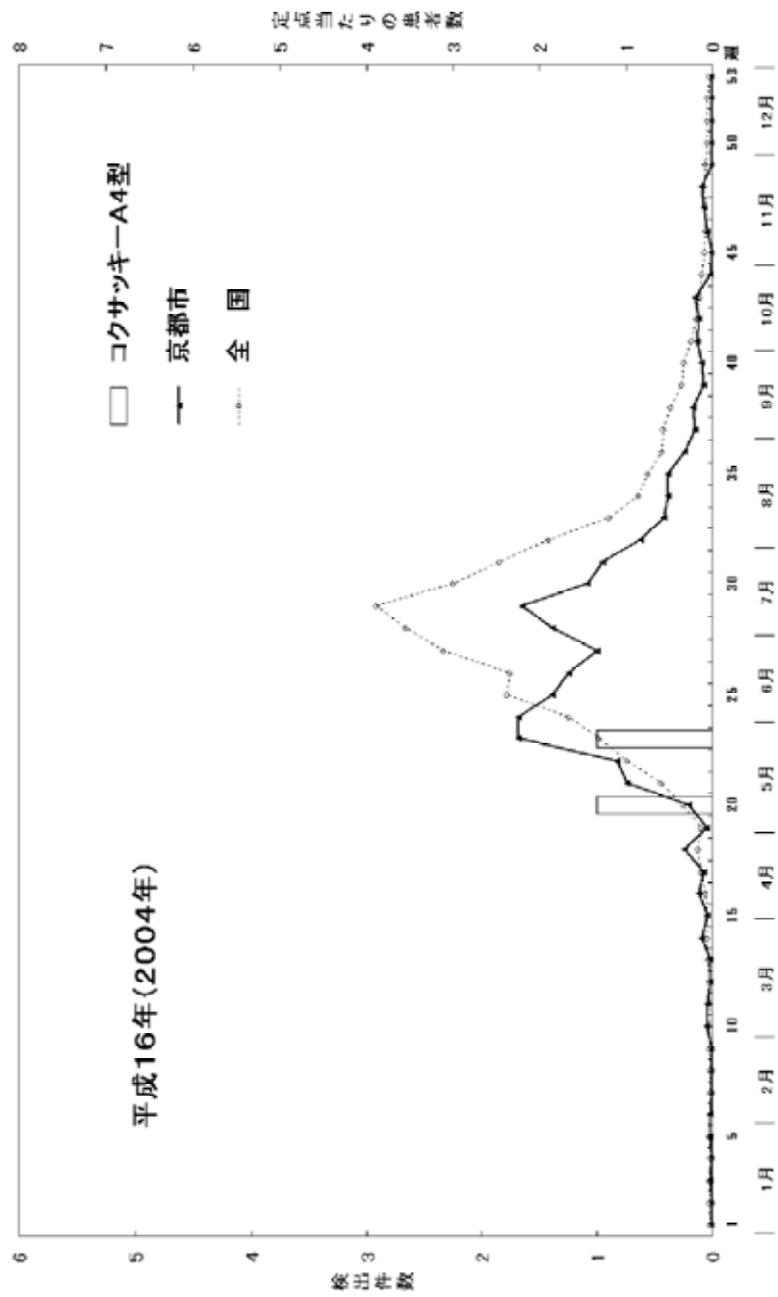


Fig.3. Seasonal prevalence of patients with herpangina, and weekly isolation of viruses from patients with the disease.

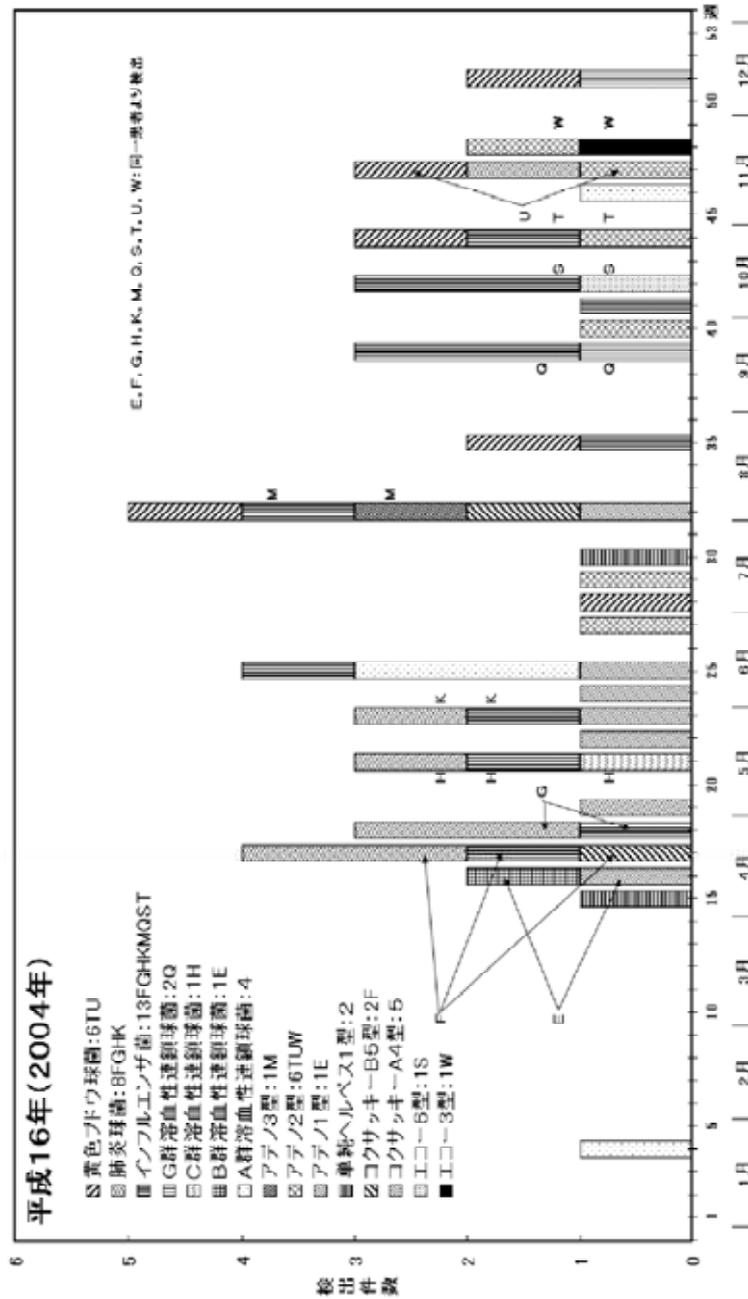


Fig.4. Seasonal prevalence of patients with aseptic meningitis, and weekly isolation of viruses from patients with the disease.

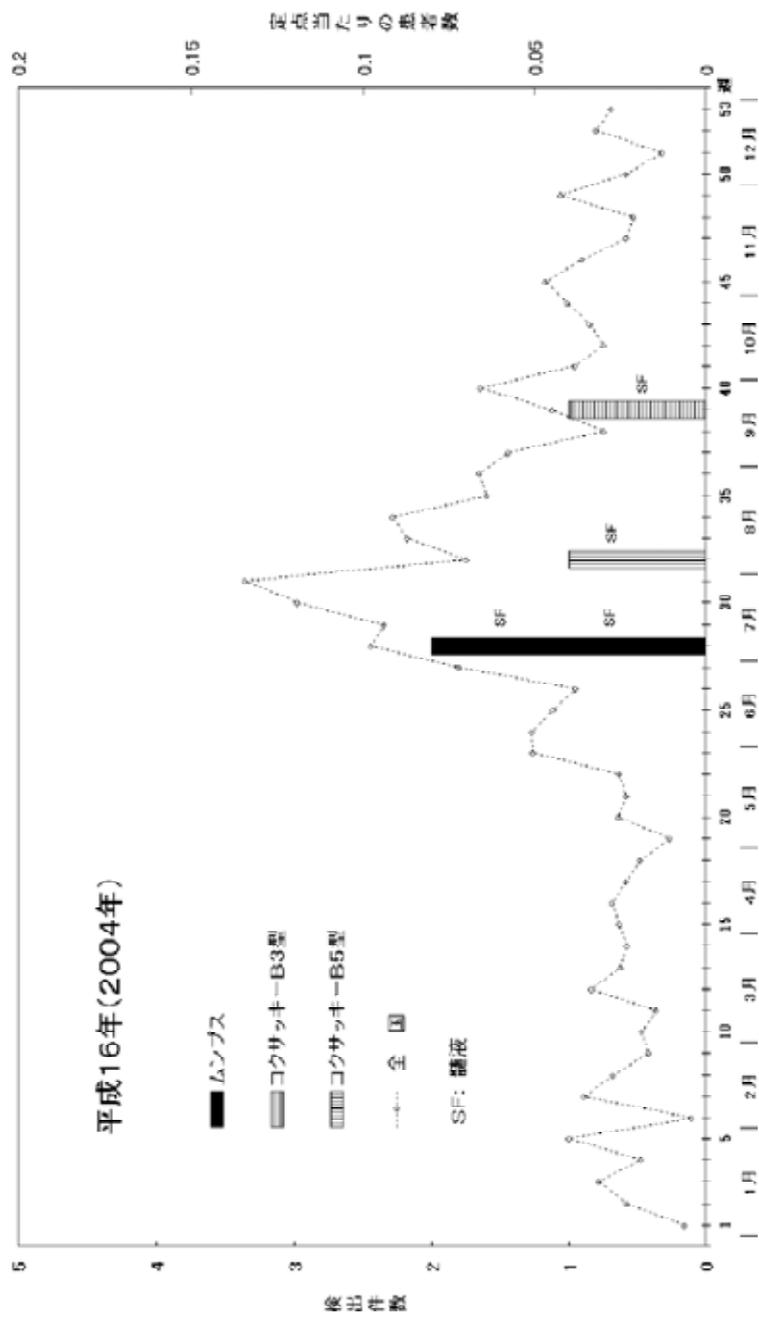


Fig.5. Seasonal prevalence of patients with summer flu, and weekly isolation of viruses from patients with the disease.

表4 検出方法別病原ウイルス検出状況（インフルエンザ定点，小児科定点，基幹定点分）

検出ウイルス	検体の種類		検出 株数	培養						遺伝子 検査		
	糞便	咽頭 ぬぐい液		細胞		母乳 マウス	EIA	迅速キット				
				FL	Yero				MOCK			
エコー3型		1	1			1						
エコー6型		1	1			1						
コクサッキーA4型		8	8			5		8				
コクサッキーA16型	1		1					1				1
コクサッキーB3型		1	1			1						
コクサッキーB5型		2	5			4	3					
アデノ1型	1	2	3			3	2				1	
アデノ2型	1	8	9			9	2					
アデノ3型		2	2			2	1					
アデノ5型	1	2	3			3	2				1	1
アデノ40/41型	1		1									
単純ヘルペス1型		3	3			3	2	1				
ロタ	8		8								8	
ムンプス		2	2				2					
RS		5	5			5	2					4
インフルエンザA(H3N2)型		8	8					7				1
小計	13	42	61			30	17	16	10	10	1	7

平成16年1月～12月

## まとめ

1. 被検患者315人中126人(40.0%)から病原体を検出した。ウイルスでは被検患者315人中60人から、エコー、コクサッキーA群、コクサッキーB群、アデノ、単純ヘルペス、ロタ、ムンプス、RS、インフルエンザ等の16種61株を検出し、検出率は19.0%であった。細菌では被検患者258人中78人から、A群、B群、C群及びG群溶血性連鎖球菌、インフルエンザ菌、黄色ブドウ球菌、肺炎球菌、サルモネラ、病原性大腸菌、肺炎マイコプラズマの10種93株を検出し、検出率は30.2%であった。

2. 疾病別病原体検出率は、疾病の種類により違いがみられた。ヘルパンギーナは例数は少ないが100%の高率であり、扁桃炎が60%台、急性上気道炎(かぜ症候群)、異型肺炎、発しん症が50%台、インフルエンザ、気管支炎・肺炎が40%台、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱が30%台であった。

3. ウイルスでは、1月～3月の流行期にインフルエンザ等からインフルエンザウイルスA香港型を検出した。また、夏季～秋季にコクサッキーA群、コクサッキーB群、エコーを主としたエンテロウイルスを、ヘルパンギーナ、急性上気道炎(かぜ症候群)、感染性髄膜炎等の患者から検出した。特に、5月、6月にはコクサッキーA 4型、7月、8月にはコクサッキーB 5型の検出が目立った。アデノも

11月に多く検出し、型別では2型の検出が目立った。

4. 年齢階級別のウイルス検出率は1～4歳で40%台、0歳、4～9歳及び10～14歳で30%台、15歳以上で10%台であった。検出ウイルスの種類は0歳で5種8株、1～4歳で14種36株、5～9歳で6種11株、10～14歳で4種5株、15歳以上では1種1株で、比較的低年齢層から多様なウイルスを検出した。

## 文献

- 1) 木村三生夫：臨床とウイルス，33(1)，46-70(2005)
- 2) 国立感染症研究所：病原微生物検出情報，25(11):1-9(2004)，26(2):25-28(2006)
- 3) 国立感染症研究所：病原微生物検出情報，年別エンテロウイルス検出状況(由来ヒト)，<http://idsc.nih.go.jp/iasr/21/248/graph/t2481j.gif>